

平成29年度 第1回 環境審議会議事録

1 会議名

平成29年度 第1回 阿賀野市環境審議会

2 開催日時

平成29年11月1日（木） 午後3時30分から5時まで

3 開催場所

阿賀野市役所 本所4階「402会議室」

4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：田辺 正明、及川 紀久雄、関川 央、波多野 千代、清水 明子、山田克之、
浪花 健一、渡邊 景子（8名全員出席）

事務局：菅井市民生活課長、宮嶋市民生活課長補佐、伊藤環境係長、貝津主任。

5 議事

- | | |
|----------------------------------|------|
| （1）会長・副会長の選任について | （公開） |
| （2）阿賀野市における今後の環境施策について | （公開） |
| （3）五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備状況について | （公開） |
| （4）その他 | （公開） |

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

0人

8 発言の内容（以下より）

開会・あいさつ 事務局（菅井市民生活課長）

本日の会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開とする旨、告げる。次に、傍聴者はないこと確認する。会議中は、録音すること、議事録あるいは議事内容については後日公開し、阿賀野市のホームページ等で掲載することの了承を得る。

議事

(1) 会長・副会長の選出について

事務局（菅井市民生活課長）

会長・副会長の選出に入ります。会長・副会長の選出につきましては、審議会規則第2条第2項の規定により「委員の互選により定める。」とあります。従いまして、委員皆様からの互選により選出をお願いするものです。

会長・副会長の選出について、ご提案はありませんでしょうか。

田辺委員

これまで、会長に及川先生、副会長に関川先生から就任いただき、審議会もスムーズに運びました。引き続き、両名からお願いしたいというのが私の意見です。

菅井市民生活課長

会長には及川さん、副会長には関川さんとのご意見がありました。いかがでしょうか。

—異議なし—

菅井市民生活課長

異議なしということです。会長に及川紀久雄さん、副会長に関川央さんと決定させていただきます。会長・副会長が決まりました。今後の進行については、会長・副会長にお願いします。

—及川会長、関川副会長は前席に移動。その後、それぞれ、自己紹介する。—

(2) 阿賀野市における今後の環境施策について

及川会長

審議議事の1、阿賀野市における今後の環境施策について、平成24年度～28年度ごみ収集の推移について、阿賀野市における不法投棄の実態について事務局の説明をお願いします。

事務局（伊藤係長）：

—阿賀野市における平成24年度～28年度ごみ収集の推移について、説明する。—

及川会長

平成24年度～28年度ごみ収集の推移について、説明をいただきました。皆様からご意

見、ご質問をいただきたいと思います。

波多野委員

資源ごみの一つである新聞紙の収集量が減って残念だという事務局の話がありましたが、環境の面でいえば、ごみが減ることはいいことではないのか。どのようなことが残念なのか。コンピュータ時代が到来したときに、紙は減る方向にあると言われていましたが、紙の消費量は逆にどんどん増えてきました。資源ごみ、ごみとして新聞紙が出てこないのであれば、環境面からは喜ばしいことであると思いますが。

田辺委員

二つの観点があると思います。教育的観点では、新聞を読まなくなってきたことは残念ですが、世の中の流れとして、私の仕事では、成果品を紙ではなくCD等の電子データで提出する流れとなってきました。資源ごみが減っているのもそのような考え方でいけば、減ってもよいのではないのでしょうか。

波多野委員

資源ごみをリサイクルするにも大きなエネルギーが必要なので、新聞紙の回収量が減ること事態、あまり悲しまなくてもよいと思います。

及川会長

私は、ある出来事に対し、各新聞がどのような観点で書いているかを掌握するため、新聞を紙ベースと電子データの両方を使って情報収集をしています。

波多野委員

そのような情報収集も可能であり、資源ごみであってもごみの量が減ること事態は、喜ばしいことだと考えてはどうでしょうか。

伊藤係長

新聞紙は日本の文化というバロメーターで考えてきましたが、ごみという観点から言えば、悪くはないこととなります。前向きに考えることとします。

及川会長

山田委員は、管内の様々な地区のごみ事情について詳しいと思いますが、ごみの出し方で地域性とかありますか。

山田委員

ごみの出方は、地域・地域で様々です。資源ごみについてはどこの審議会に出ても話題になります。ゴミの出す傾向は、地域や世代ではっきりと分かれています。新たな住宅地など意識の高い地域では、分別して資源ごみに出してくれる方が多いですが、あま

りごみを出さない中山間地では、ごみを出さずに野焼きに走るケースもあって、どっちがいいとは一概に言えません。先日、聖籠町の審議会に出てまいりましたが、聖籠町では生ごみのたい肥化を進めており、生ごみの量が少ない傾向にあります。

及川会長

若い人たちは料理をせずに、コンビニ弁当で済ませる方も多いので、ごみは出ないのですね。時間の関係もありますので、次の阿賀野市における不法投棄の実態について、を議題といたします。審議議事の2、阿賀野市における不法投棄の実態について、事務局の説明をお願いいたします。

事務局（貝津主任）

—阿賀野市における不法投棄の実態について、説明する。—

及川会長

不法投棄の件数そのものは、減っているのですね。渡辺委員いかがでしょうか。

渡辺委員

不法投棄の意見の前にごみの分別について一言発言をお願いいたします。私が委員をおおせつかっている五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会の会議の中で、高齢化で、阿賀野市のようにやっている細かな分別ができない。毎日毎日、分別したごみをステーションに出せないといった意見がありました。私は、旧水原・笹神・京ヶ瀬地区で行っているごみの分別を他の市町でもやっていると思っていましたが、五泉市や阿賀町では違っていました。たとえば、これ（ペットボトル）は、3つに分別されることとなります。分別の必要性はわかりますが、こんなに細かい分別が必要なのか、高齢化社会を迎える中で、分別する側のことも考えて簡素化することを日本全体で検討しなければならない時期に来ていると感じます。高齢化を迎え私たちのだれもがコンビニ弁当の世話になる時が来ますが、コンビニ弁当の空き容器はきれいに洗っていないとプラ容器で出せない等、分別にはわずらわしさがあります。分別の種類をもうちょっと減らす、少なくする方法を検討していいのではないかと思います。

不法投棄の実態は、春のクリーン作戦に出っていますが、回収されたごみを見ると去年、一昨年とカンやビンのポイ捨ては少なくなっていると感じています。

及川会長

ごみカレンダーを見て、カンは何日、ビンは何日、ペットボトルは何日と資源ごみの

出せる日を日々確認しなければならないわずらわしさがあります。先日、近所のごみステーションでプラスチックの化粧品のビンが、回収できない理由が書かれたシールが貼られて残されたままになっていました。洗っていないから回収されないのか、そのごみの日でないので回収の対象外だったのかはわかりませんが、分別が面倒になると不法投棄につながるケースもあると思います。不法投棄を抑えるものとして、されそうな場所に花のプランターや小さな鳥居を設置して不法投棄をされないような工夫をしている場所もあるようですが、不法投棄される場所は決まっているのでしょうか。

関川副会長

今回配られた市の広報で、緑町のケースが載っていました。私が以前、自治会長を担っていた際に、私共のごみステーションに通勤途中の他の自治会の方が、頻繁にごみを置いていくので、ステーションの場所を変えたら、それがなくなりました。道路などでは道路脇の駐車スペースのあるところにごみが捨てられるケースが多いようです。国道290号ではそれを防ぐために駐車できるのに駐車スペースを閉めている個所もあります。車の中からポイ捨てをする人もいます。様々な工夫で不法投棄が減ることもありますが、限界があります。パトロールやのぼり旗の設置等、大変でしょうが自治会と協力して継続した活動をお願いしたいと思います。

妻の実家の上越市高田は、もっと分別が細かくてびっくりしたことがあります。

山田委員

多いです。資源ごみの分別が細かく16分別です。ここに赴任する前、高田に住んでいましたので…。

波多野委員

不法投棄のデータで家庭ごみが170kgありますが、どのような状況で不法投棄されていますか。

貝津主任

家庭ごみとして一括りになっていますが、山や河川・公園などの人気がない場所に、粗大ごみである衣服や家具などが捨てられていることが多いです。生ごみはほとんどありません。

波多野委員

新潟市のバイパス脇に、新潟市の45ℓの有料のごみ袋に入った家庭ごみが捨てられているケースがあるので聞いてみました。ごみステーションに出すのを忘れて、通勤途中で捨てていくのだと思われそうですが、阿賀野市ではどうですか。

貝津主任

阿賀野市でも同様のケースも見られます。新潟市等の指定ごみ袋に入っている家庭ごみが、市内で捨てられていたケースもままあります。また、阿賀野市の場合は粗大ごみ等が無料で出せるので、有償処理している新潟市や新発田市の方が無償処理の阿賀野市に持ってくることもあるようです。

及川会長

実例として自転車があります。自転車の処分は、新潟市では一台400円かかりますが、阿賀野市では粗大ごみで、無料で回収してもらえるので、阿賀野市に持ってきて知り合いのごみステーションに出す方もいらっしゃるようです。

学校の道徳の授業でごみの分別や不法投棄を教えたりしているものですか。

浪花委員

それらは家庭教育の分野だと思っていますので、学校では教えていません。学校ではごみを散らかしたりポイ捨てしたりすることは、いけないことマナー違反であることを指導しています。

及川会長

清水委員、生活学校ではどのような取り組みをされていますか。

清水委員

生活学校では、先日ウオロク岡山町店前で、お買い物に来た方に3R運動を知っているかとのアンケート調査を行いました。3Rのリユース・リデュース・リサイクルの内リサイクルは知っているがリユース・リデュースの言葉の認知度が低いという結果が出ました。リユース・リデュースの言葉を知らない人に再利用や無駄なものは買わないなどであることを説明すると理解してくださる方が多かったです。レジ袋は持つ人もっていない人の割合が半々でした。阿賀野市ではレジ袋もごみ袋で使えるし、人に何か差し上げる時にも使える等、レジ袋は様々な用途に使えるので、もらっていきたいという心理もあるようです。

先ほど資源ごみの回収量が減っているという話がありましたが、若者が新聞を取らなくなったことでもあります。新聞回収業者が各家庭を回って、トイレットペーパーと交換しているケースもありますので、そのことも減ってきた要因かと思います。

渡辺委員

ずいぶん昔になりますが私が新潟放送に勤めていたころ、及川先生によくネタを提供してもらっていました。そのころ、及川先生が良い環境のシンボルである蛍を新潟県内

全112市町村に飛ばせないかという提案をなされたことがあります。各市町村の代表的な場所、阿賀野市では瓢湖、新潟市ではじゅんさい池あたりに蛍が飛ぶと、阿賀野市や新潟市全体がよい環境であるかのようにアピールできるという発想です。川の水をきれいにするための下水道や合併浄化槽の整備はもちろんのこと、家庭では廃油等を台所の排水口に直接捨てないようにする等、環境に配慮した生活スタイルが重要であることをお母さんたちに学んでもらい、実践していただくことが必要です。その際、環境のことを学んだ子供たちが、そのことをお母さんたちに伝えると一番効果的であると、旧大島村での取材で学んだことを思い出しました。瓢湖など阿賀野市の素晴らしい環境は、市が水をきれいにするに取り組んだ結果であることを市の広報紙や瓢湖の宣伝媒体等でアピールすることはもちろん、子供たちが何かの機会にこれらのことを学び、お母さんたちに伝えられれば、環境に配慮している阿賀野市をもっとアピールできると思います。

及川会長

新潟市西蒲区の焼却処分場では、溶鉱炉のような焼却施設であるので、なんでも燃やせる方式でした。「自転車までも燃やせます」を売りにしているこの炉は、中越地震の時は、分別されていない災害ごみを相当量引き受け、被災自治体から感謝されたと聞いています。大きい都市には災害のことを考え、1か所このような方式の炉があってもいいのではと思いますが、価格の高いコークスを使うのでランニングコストがかかりすぎるのが難点です。

波多野委員

新しい焼却施設は、どこにどのような方式でできるのですか。

菅井市民生活課長

建設地は、現在の五泉地域衛生施設組合の焼却場の県道の向かい側、清瀬地区ですが、炉の方式はまだ決まっていません。

波多野委員

広域ごみ処理施設整ニュース第1号に、平成25年度実績で一人当たりの家庭系ごみ排出量が795g。平成37年度目標が743gと12年間で、500mlの空きペットボトル2本分の重さ52gを減らす計画となっていますが、12年もかかって、これしか減らせないのでしょいか。来年の目標ではないんですね。

菅井市民生活課長

ごみに対する意識が3市町全く違います。新しい焼却炉を建設する際に国から交付金

を受ける予定ですが、建設に際し、ごみの減量化・リサイクルをやらないと交付金は受けられません。この計画は、それを受けるための最低限の目標ですので、これをクリアしないといけません。阿賀野市は安田地区が水原・笹神・京ヶ瀬地区と同様の分別を行えば、目標はすぐに達成できます。しかし、五泉市・阿賀町の両地区はこの目標をクリアするには、かなり大変だと思われま

波多野委員

何でそんなに難しいのですか。意識の問題ですか。

渡辺委員

ごみの分別をやったことがない。今まで、何もしてこなかったのに、このような結果になったと思います。

菅井市民生活課長

現在の五泉の炉は、先ほど話に出た西蒲区の炉まではいかないものの、何でも燃やせる炉なので、それほど分別にこだわらなくてもよかったです。何でも燃える代わり、残る灰は、阿賀野市の環境センターは10%前後ですが、五泉地域施設組合の炉は12～3%位残ります。五泉市・阿賀町は新施設稼働までに、説明会等により、市民に対しごみの減量やリサイクルを徹底する必要があると思います。

及川会長

新潟市でも新たな分別を始める前には、市長が先頭に立って各地区を細かく回っていました。分別を変えることは相当大変なことだと思います。

波多野委員

逆に何もやって来なかったのに、思い切ってやれば、目標達成はたやすいのではないのでしょうか。新潟市も新たな分別導入時には、いろいろ問題はありましたが、今はスムーズに行われているようです。皆さん環境に関心を持っていると思うので、目標達成は可能だと思います。

及川会長

施設整備の話に話題が移っているようですので、次の報告事項に入ります。五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備状況について事務局説明をお願いいたします。

(3) 五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備状況について

事務局（宮嶋市民生活課長補佐）

—五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備状況について説明し、菅井市民生活課長が補足説明を行う。—

及川会長

報告事項ですが、何かご質問はございませんか。

その他事項についても何かございませんでしょうか。

何もないようですので、会議を閉じたいと思います。長時間にわたりまして、ご審議ありがとうございました。マイクを事務局にお返しします。

事務局（菅井市民生活課長）

最後に、関川副会長から閉会のあいさつをお願いします。

関川副会長　—閉会のあいさつを行う。—

事務局（菅井市民生活課長）

以上で、本日の審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

—閉　　会—

9 問い合わせ先

民生部 市民生活課 環境係 TEL0250-62-2510（内線2105）

E-mail:shimin@city.agano.niigata.jp